



徳山大学広報

学園台の風

第52号

平成21年1月10日 発行

学生生活のいま

徳山大学経済学部ビジネス戦略学科2年

中村 尊史 君

(山口県立山口中央高等学校出身)

ビジネス戦略学科スポーツマネジメントコースで学ぶ中村君。ゴルフ部のキャプテンも務め、昨年の山口県オープンゴルフ選手権決勝ではアマチュアの部で見事優勝を果たしました。

(4頁にインタビュー掲載)



発行 徳山大学
撮影・編集 中村道陽
山口県周南市学園台
TEL 0834-28-0411 (代)

地域創発ワークショップを終えて

副センター長 和田 崇

徳山大学地域連携センターでは、オープン記念行事として、本年8月25日から7回にわたる公開研究会

「地域創発ワークショップ」を開催してまいりました。本学教員8名がそれぞれの専門分野について話題を提供し、地域の方々とともに情報や意見を交換しあいました。このワークショップには、本学教職員のほか、

自治体や企業、経済団体、NPOの方々など延べ103名の参加があり、徳山大学と地域の皆様との連携・協力の可能性について活発な議論が展開されました。

地域の方々から提案された連携方策案として、例えば、地元企業向けのEQ教育研修プログラムの開発・提供、周南地域の地域課題マップの作成、地域のスポーツ競技者の協力を得たスポーツ科学的研究の推進、効果的な人材育成システム確立に向けた徳山大学の研究・コンサルティング活動、知財開発コースと連携したキャラクターを活用した商品・企業のブランディングなどが提案されました。これらはいずれも徳山大学の強みを発揮できる提案であり、徳山



大学としても、できるところから具体化することにより、地域からの要請に添えていきたいと考えています。また来年度は、今年度の取組みを深化させる形で、徳山大学と地域の皆様との

連携・協力を展開したいと考えています。具体的に、地域の皆様からの提案や要請を受けて、本学教員が地域課題に関する調査研究を行い、調査研究成果を地域社会に公表・還元することにより、「地域のシンクタンク」として地域に貢献していく予定です。

ドイツから遠隔授業実施

ドイツ・エアランゲン大学と徳山大学をインターネット通信を介しての遠隔授業が12月16日実施されました。これは、今後本学が推進していく情報教育に関する試みの一つとして行ったものです。今回は、研究活動のためドイツに滞在中の経済学部下部匡史准教授が3年生対象の「教職総合ゼミ」の授業を行いました。授業内容は、教職課程受講の学生ということから、エアランゲン大学附属学校博物館の分室にある所蔵品を紹介しながら、ドイツの学校の歴史や当時の学校の様子を紹介するというものでした。



受講学生からは「ドイツの成績評価は絶対評価か相対評価か?」「ドイツの小学校の授業科目は?」といった質問を行いました。ドイツから瞬時にその回答を得る場面もありました。学生には外国の教育事情を知る、良い機会となりました。

福祉情報学会講演会開催



11月30日徳山大学3号館301教室において、本学福祉情報学会主催の講演会が開催されました。演題は「人生80年を楽しく暮らしましょう。元気に暮らすための運動のススメ」、講師は東北文化学園大学大学院教授で医学博士の植木章三先生でした。先生は健康科学が専門で、地域で暮らす高齢者のための運動プログラムの研究・開発の携わっておられ、介護予防のために「よく身近にできること」はどのようなことがあるかを、実施例や統計をあげて、わかりやすくお話いただきました。会場には地域の方や、教職員・学生約200名が参加し、身振り手振りを交えて、はつきりした発声で、時にはユーモアを交えての話に、聴衆も熱心に聞き入っていました。参加した学生は、「植木先生は大学で、健康運動科学や障害者スポーツ指導論も担当されていると聞き、自分たちの日ごろ学んでいることも重なり、関心を持って話を聞くことができました」と、感想を話していました。介護予防において、まず身近なところから何を行っていくべきかを考えることのできる講演会でした。

第五回徳山大学マンガコンテスト作品講評

講評 まんが家・特任教授 なかはらかせ

◆優秀作品賞「花＊花 bloom」

永島優（岩手県立盛岡第二高等学校二年）

心温まる物語として「奇跡」を等身大の世界観で描き上げた作品です。画力としても、不安定な線はまだあるものの表現力には確かな実力を感じました。少ないページ数なのに、何よりも友だちを思いやる心のおこしたクラスの奇跡と、見事に花を咲かせた奇跡とが同時進行ですすみ、最後に奇跡を結びつける演出には



力強いメッセー
ジがありま
す。少し
不安定な
ところも
あるので、
しっくり

としたペンタッチが身につくように頑張ってください。

◆弘兼憲史特別賞「願い事は目覚め」

保田琳（岡山県立総社南高等学校三年）

どちらかというと写実的な表現方法でイラストを描いてくれた作品です。絵の持っている重量感が場面の空気をうまく表現していると思います。



ドラマチックな設定が、それぞれのキャラクターの表情をうまく描くことで際立っています。しかし重量感のあるタッチは時として雑なタッチととられることもあるので注意してください。

◆YAB特別奨励賞「確かな息吹」

田辺恵美子（山口県立田部高等学校三年）



必要以上に描き込まない、必要なものだけを的確にレイアウトして、何を伝えたいかを絞り込むのに成功した作品です。ダークな雰囲気统一到

中心の奇跡に目を向けさせるなど構図や演出もうまくいきました。ひとつのデザインワークとしてもまとまり感のある作品です。

◆入選「君というキセキを祝う」

吉田汐里（山口県立下関南高等学校二年）



◇ポップなイメージのイラストが目を引きました。明るい色づかいやキャラクターの表情の良さが奇跡というテーマを楽しい物語に演出しています。

色の使い方がもう少し整理されてくれば、センスの良さはあるのでもっと素晴らしい作品になったと思います。

す。構図も印象的にレイアウトしてありインパクトがあります。

◆入選「キセキのはなし」

中川美桜（山口県立下関中等教育学校二年）



ファンタジーのようなお話ですが、少ないページ数

の中に素敵な出会いを演出した物語です。前後に続くお話を感じさせる作り方もマンガ的な要素があり、もっと読んでみたくなる作品となりました。まだ絵柄が硬いのでやわらかい線が描けるようになるといいですね。

◆入選「良かった良かった」

筒井梨加（佐賀県立有田工業高等学校三年）



今回の作品の中で本当に「よかった」と感じさせる作品です。なによりも実際に自分が経験して無くても、こんな状況に遭遇すると奇跡を信じるようになるでしょうね。各コマの描き方も臨場感ありますし、シンプルな中に現実味のある奇跡が見えた作品です。



ゴルフ部のメンバーと
(前列右端)

中村尊史 君

(経済学部ビジネス戦略学科2年)

でプレイできるようにしています。

○ゴルフを通して学んだことは

◆小学生の頃から練習場に行き、大人と接する中で、大人の社会でどう人と接するべきなのかということ自然而然と学びました。その中で、やはり、礼儀ということはとても大切な事と感じましたし、今も大事に心がけているつもりです。

○去年は山口県オープンゴルフ選手権で優勝しましたがその時の気持ちは

◆とても光栄で嬉しかったです。

○今後の目標を教えてください。

◆スポーツマネジメントコースでしっかり勉強しながら、ゴルフ部では主将としてクラブを引っ張り、個人・団体とも中国大会で優勝を狙いたいです。そして、それらのことを通して、少しでも徳山大学が多くの人に知ってもらえるよう努力していきたいと思っています。

○中学・高校とゴルフで活躍して、高校卒業後、ゴルフ倶楽部所属の研修生の道も考えたとき聞きましたが。

◆はい、それも考えましたが、高校の先生に相談したところ、大学の方が試合数が多いし、また学業面も含めてより多くの事を吸収することができるので、練習方法等も自分に合っているなどのことから現在に至っています。

○ゴルフでモットーとしていることは

◆「楽しむこと」を心がけています。ゴルフはご存じのとおり切り替えが必要で、その意味でも常に明るく楽しんで

ー今回初めて会った中村君は、とても明るく、また礼儀正しい学生でした。今後の活躍に期待したいと思います。

吉岡杯争奪若鷲柔道大会開催される

12月20日周南市総合スポーツセンターにおいて西日本地区の高校48チーム中学49チームが集まり、柔道大会が開催されました。この大会は本学柔道部の主催で行われ、実力の高い有力校同士の戦いが繰り広げられ、毎年熱戦が展開しています。今年は中学校の部で、男子は企救(福岡)女子は北陵(岡山)が優勝、高等学校の部では、男子は福岡大学付属大濠(福岡)女子は敬愛(福岡)が優勝しました。



高橋亀吉博士のお孫さん来学

高橋亀吉博士(1891~1977)は山口県徳山市(現周南市)の出身です。「苦学力行」の末、早稲田大学商科を卒業(1916年)し、久原鋳業(社長久原房之介:山口県出身)に入社します。その後、東洋経済新報社(当時の編集長は石橋湛山)に移り、編集長などを経て、日本で初めての経済評論家として独立し、「生涯現役」として活躍されました。本学では高橋亀吉先生の数多くの著作物、貴重な自筆の文書を2000年に高橋家より御寄贈いただきました。これをもとに『高橋亀吉文庫』を図書・研究センター内に開設しております。今回高橋先生のお孫さんの高橋博子さんがこれらの資料の見学を希望され、来学されました。



左から中谷教授 高橋さん
大竹教授(図書・研究センター長)

春一番オープンキャンパス

平成21年3月28日(土)開催決定!

ーともに響きともに学び合う徳山大学ー

